

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	六会地区まちづくり事業費										担当	部課名	市民自治部六会市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	01	課等の長	中川 あをい	電話	6257

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域主体のまちづくりを推進するため、地域の特性や個性を生かしながら各地区でそれぞれの事業に取り組む。						
事業目的および必要性	地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと六会」を実現するため、地域の力を生かした様々な活動・事業に基づき、地域の特性に応じたまちづくり事業が必要である。						
対象	1. 個人	市民(六会地区)				36,384	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : 特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構)						
	(委 託 等 内 容 : 地域の人材発掘とボランティア先とのコーディネート事業を行い、地域住民のつながりを深めるとともに、地域活動の推進を図る。)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020							
重点施策名				指針体系コード		その他の計画との関連	
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進				4-3-51			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること			2.7 点	2.79 点	2.91 点	2.88 点	
			点	点	点	点	

令和元年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	需用費	306 千円	花の植栽活動による美しいまちづくり事業、六会まちおこし活動支援事業、交通不便地区解消検討事業
	1,574 千円	215 千円	六会まちおこし活動支援事業
	委託料	1,053 千円	六会人材センター推進事業
【参考】 令和2年度 予算額	事業費節別内訳		
	費 目	予算額 (千円)	主な事業内容
	需用費	719 千円	花の植栽活動による美しいまちづくり事業、六会まちおこし活動支援事業、交通不便地区解消検討事業
	2,003 千円	231 千円	六会まちおこし活動支援事業
	委託料	1,053 千円	六会人材センター推進事業

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
正規職員等	3.00	1.91	1.91	1.91
再任用短時・任期付短時職員	0.32	1.20	1.04	1.04
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	3.32	3.11	2.95	2.95

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

令和元年度 事業実施 内容	花の植栽活動による美しいまちづくり事業は、公園愛護会、小・中学校、藤沢養護学校等の施設に向けて育成した花苗を夏と秋に2回配布した。 六会人材センター推進事業については、小学校を軸にボランティア先とのコーディネートや相談対応を行うとともに、人材センターのPR活動として、配布チラシとパンフレットを作成した。 交通地区不便解消検討事業は、本格運行を開始した予約型乗合タクシー「おでかけ六会」の利用促進のため、地域住民に向けて事業の周知と会員募集を兼ねたチラシを作成し、運行エリアに該当する自治会に配布を行った。						
	指標名	単位	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	備考
成果目標	花の植栽を行う団体	団体数	33	33	30	30	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	備考
	花苗の配布数	本	7800	7100	4700	4600	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	花の植栽活動を行う団体数(累計)	団体数	33	33	28	26	
数値で表せない効果							
駅前のロータリーにおける花壇の維持管理を行うことで、四季を通じた花の鑑賞ができるとともに、六会地区に住む人々が、やすらぎと癒しの時間を過ごすことができ、さらに植栽を通じて地域住民が交流することで、コミュニティの充実が図られている。							

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	30,522	21,076	23,825	24,951	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	30,619	25,231	24,031	24,934	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	487	1,522	1,173	1,574	
	償還金利子	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	30,132	23,709	22,858	23,360	
	①職員給与合計(常勤)	28,499	22,854	21,962	22,257	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,633	855	896	1,103	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-97	-4,155	-206	17	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-97	-4,155	-206	17	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他()	0	0	0	0	
	行政収益(事業収入) B	0	0	0	0	
収入	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0	
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0	
	③国庫支出金	0	0	0	0	
	④県支出金	0	0	0	0	
	⑤その他()	0	0	0	0	
	(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	30,522	21,076	23,825	24,951		
分析指標	項目	花の植栽活動を行う団体(累計) F	33	33	28	26
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		924,909.09	638,666.67	850,892.86	959,653.85
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		71.80 425,105	49.30 427,501	55.50 429,317	57.62 433,060
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	予約型乗合タクシーについては、利用率向上に向けた周知活動を行い、住民に利便性を理解いただくとともに、資金面において、タクシー運賃の改定など自立した事業展開を目指すことが課題となっている。
(2) (1)解決のための令和元年度の取組	予約型乗合タクシーの利用についての周知活動を拡大し、継続的な周知を行った。また、賛助会員など寄付を募ることで、収支のバランスを図った。
(3) 令和元年度末時点の課題	予約型乗合タクシーについては、引き続き利用率向上に向けた周知活動を行うとともに、運賃収入以外の新たな資金源を検討する必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	「おでかけ六会」の周知を続けるとともに、運賃収入や広告料、支援金など様々な手段を使った収入の確保を実践し、安定的な営業を続ける取組み(収支計画)を進めていく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="radio"/> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和元年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<p>少子超高齢化が進展していくなか、高齢者を中心に交通弱者がさらに増加し、買い物難民などの地域課題が顕著になってきており、そういった状況を地域でどのように取り組んでいくかという社会的共通認識がある。</p> <p>また、郷土づくり推進会議をはじめとする地域団体において担い手不足が常に不足しており、役員の高齢化も進んでいる。</p> <p>今後、高齢者を主として孤立社会が進展し、生活課題がさらに増えていくことが予想されるが、地域活動への参画は喫緊の課題となっている。</p>	
他市等の事例	<p>他市においても、地域住民と行政が協働し、地域のまちづくりへの取り組みを行っている事例があるが、人口減少社会が進んでいる地方都市のほうが、危機感を持って実施しており、先進的な様々な取り組みを行っている。</p>	
市民ニーズ	把握方法	<p>地区全体集会、現地活動等</p>
	把握内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西俣野地区の交通不便地区解消事業について「おでかけ六会」の利便性を向上させ、利用率を高めたほうがよい。 ・地域の担い手不足は続いており、人材発掘とボランティア活動の推進について、人材センターが主となり、周知活動や人材育成、マッチングを行うことが必要。 ・地域の公園について、健全に維持していくため、地域の方と協働して管理を進めていくべき。
	対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、西俣野地区の交通不便地区解消事業について「おでかけ六会」の周知を継続し、利用者の増加を目指すとともに、新たな収入源を確保する手段を検討する。 ・地域活動の活性化を進めることで、地域コミュニティの充実を図り、新たな担い手が育成できる環境を整えていく。 ・自治会町内会、公園愛護会など地域で活躍する団体との連携を図ることで、新たな関係性を構築する。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>「素的なふるさと 六会」を目指し、花の植栽活動による美しいまちづくり事業や六会まちおこし活動支援事業、六会人材センター推進事業等に地域住民が積極的に事業に取り組み、一定の成果を上げるとともに、地域の特性を生かした郷土愛あふれるまちづくりを推進した。</p> <p>一方、活動するメンバーの広がりについては、課題と捉えており、地域全体でのまちづくりを目指すうえで、新たな展開が必要だと考えている。</p>	
今後の方針	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
	事業の方向性	現状維持
	<p>今後、事業を継続的に進めていくためにも新たな活動主体の掘り起こしを行いつつ、長年活動をしてきている地域住民と連携を図るなかで、関係性を構築し、事業の相乗効果を目指していく。特に、若者から40代・50代については、高校や大学が地域に複数あることや他市からのファミリー層の流入もあることから、積極的なアプローチが必要だと考える。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	郷土づくり推進会議委員の選定について	無	無	1	1
2	郷土づくり推進会議会議の開催について	無	無	1	1
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2020/8/24
----	-------	----	-------	-----	-----------